

**平成28年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 社会教育 課

1. 基本情報

1301

施設名	伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進し、あわせて市民の教養、文化の発展と健康の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 （団体の住所又は所在地） 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 （管理運営の指定管理者の具体的目標）	指標名	利用者人数（単位：人）	
	指標の意味	講座・イベント＋貸館＋フィットネスの利用者のべ人数	
	今年度の目標値	195,500	今年度の実績値 205,249

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H24	H25	H26	H27	H28（上期）	H28（通期）
	来館者数（人）	337,586	407,529	371,008	377,910	364,170	186,852	360,152
	貸し室稼働率（%）	39	46	46	45	43	41	43
	講座開催回数（回）	630	944	919	974	1,038	600	998
	講座参加者数（人）	18,879	43,766	41,445	44,153	42,795	22,272	43,623

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

＜単位:千円＞

	区分		平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	3カ年 平均	
指定管理者の収支	収入	使用料収入	56, 103	56, 337	54, 049	55, 496	
		事業収入	14, 886	15, 261	15, 104	15, 084	
		その他	214	231	189	211	
		指定管理委託料	118, 877	125, 516	123, 624	122, 672	
		①合計	190, 080	197, 345	192, 966	193, 464	
	支出	維持管理	光熱水費	27, 131	26, 361	24, 387	25, 960
			清掃等委託料	24, 880	24, 885	24, 897	24, 887
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	5, 860	7, 648	7, 504	7, 004
		運営	人件費	33, 206	36, 676	38, 193	36, 025
			事業等経費	92, 977	92, 605	88, 080	91, 221
			その他	4, 204	4, 898	5, 506	4, 869
			指定管理納付金	0	0	0	0
			②合計	188, 258	193, 073	188, 567	189, 966
	純収支（①－②）		1, 822	4, 272	4, 399	3, 498	

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ ＜単位:千円＞		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	2,071	2,048	2,146	249	251	244
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	0
	市の支出	108,922	107,897	113,704	127,672	269,744	125,707
	（内、指定管理委託料）	107,905	106,861	111,849	118,877	125,516	123,624
実質経費（歳出－歳入）		106,851	105,849	111,558	127,423	269,493	125,463

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	老朽化した施設・設備等の故障が頻発するなか、利用者の利便性と費用対効果のバランスに配慮しながら、臨機応変に対応した。	A	協定書・仕様書に基づき、適正に管理業務を行っている。利用者アンケートによる評価も高い。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	施設運営に関して、必要な経験と実績を積んだスタッフを配置。適時、技能研修も行なっている。	A	施設運営に必要な人員配置と職員研修を行っている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を構築。年に2回の消防訓練を行なっている。	B	緊急連絡体制を構築し、消防訓練を実施している。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	市民の参画と協働を目的とした市民企画講座や市民グループとの連携の取り組みに努めました。	A	利用者の意見を事業へ反映させようとする姿勢がみられ、利用者満足度調査等に表れている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	市民の参画と協働をサポートする事業を積極的に展開しました。	B	市民の参画と協働の視点からの事業を実施している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書や個人情報について、適切かつ厳重な管理を行なっている。	B	各種申請書等を適切に管理している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	利用料金収入は予算を下回ったが、事業収入は上回った。	B	経理処理が適切に行われている。事業収入は予算を上回った。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	総合評価 B	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行い、利用者数の目標数値を達成している。協定書・仕様書に基づき、市総合計画等の施策の趣旨を踏まえた事業の実施、経営管理が行われている。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成28年 12月 23日 ～ 平成29年 3月 20日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	館内の休憩コーナーで、(子どもたちが)テーブルを占拠して、使いにくい時がある。	休憩コーナーの利用マナーの順守を促す掲示の強化、および著しく長時間占有しているとみなされる際は、巡回時に注意を行います。
	フィットネスラスタで、利用マナーを守らない人がある(プールを2列で話ながら歩く。マシンの利用時間を守らない。など)	利用マナーの順守を促す貼り紙、アナウンス、スタッフの監視の強化を行います。
回答者数	282	(コンサートの)演奏はよかったが、足元がとても寒かった。
		広いホール空間では、すべての区域の温度を一定に保つことが難しいため、ひざ掛けの貸出サービスで対処しております。今後はそのサービスの周知を徹底します。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置